のびのびリング

第18号

2018

http://www.yuzuriha.or.jp/ 編集発行:医療法人協治会 杠葉病院 ☎095-878-3734



カメラマン:持増ふさ恵撮影

杠葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。 長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。 職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある 医療サービスの提供に努めます。

病院理念

患者様本位の医療と看護

基本方針

- 一、人間としての尊厳と生活の質を重視した思いやりのあるケアの提供
- 二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
- 三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実





当法人は、 「誰もが働きやすい職場づくり」 を目指しています

「出張相談サービス」 について

~この4年間を振り返って~

事務総務課 吉田形 和伸(精神保健福祉士)



平成26年6月より、「出張相談サービス」(相談版ア ウトリーチ)を開始して、早いもので4年の年月が過ぎ ました。この4年間、相談を頂いたご家族やご本人、担 当ケアマネージャーの方々と様々な出会いがありまし た。サービスや治療につながったケースもあれば、残念 ながら繋がらなかったケースも勿論ありました。

私達が自宅訪問をして、相談者の困りごとに対しすぐ に問題が解決する事はありません。

ただ、ご本人やご家族と直接、顔と顔を合わせ困りご とに対し耳を傾け、その想いを受け止め理解する事で、 お互いの信頼やつながりが芽生えてきます。

そこから生まれた小さな変化や糸口がきっかけにな り、徐々に問題解決に向けて状況が動き出すケースが多 かった気がします。

以前、ある相談ケースで、ご家族から「母親が、物忘 れや被害的な訴えが酷くなり専門外来にどうにか繋げた い」と相談がありました。

自宅訪問時も、本人からは「何しに来た!私は何もお かしくない」と言われ、話しも進まない状況でしたが、 今までの人生を少しずつ語り出し、終始、傾聴すること に徹しました。

その後、ご家族が心配している事を伝え説得を続けま した。最後に、「そこまであなた方が言うなら自分はお かしくないけど、一度、診察に行くよ」と受診に関して 了承して頂き、専門外来に繋げることができました。

外来受診時にご家族から、「(母親)を精神科へ受診さ せるのに4年かかりました」と涙ながらに話された事が あり、このサービスを始めて「本当に良かった」と改め て感じました。

現在、長崎県の精神科病院ではおこなっていないサー ビスなので、まだまだ認知度も低いですが、「ひとりで も困っている方」がいる限り、問題解決に向けてお手伝 いができるよう地道に活動を続けて行きたいと思ってい ます。

【出張相談実施実績】(約9割近くは認知症関連)



精神科看護誌に掲載されました

桜花病棟 精神科認定看護師 若浦 雄也



精神看護出版が発行している、月刊誌『精神科看護10月号』 の特集「いまこそ肝心!摂食嚥下へのケア」において、当院の桜 花病棟の取り組みである食事前タイムアウトを取り上げていただ きました。

精神疾患をもつ患者においては、抗精神病薬の副作用や精神症 状の悪化によるセルフケアレベルの低下により、口腔機能に支障 をきたすことが少なくないため、なんらかの継続的なケアが必要 となります。また、精神科病院に入院する患者の高齢化が顕著な 現状において、高齢化による摂食嚥下機能の低下は、肺炎をはじ め重篤な疾患につながるため、特別の配慮が欠かせません。精神 疾患をもつ人の食べる機能に対する精神科看護師の役割をあらた めて見直す機会となりました。今後も、歯科や摂食・嚥下リハビ <mark>リテー</mark>ション委員会とも連携し、患者さんの「食べること」に協 力していけたら、と考えます。









鈴田 元気 所属 A-2 職種 准看護師



髙倉 広大 所属 A-3 職種 介護士



田口華那 所属 A-4 職種 准看護師



塚本 聡夫

所属 A-2

職種 看護師



濵口 陽一

所属 桜花

職種 介護福祉士



亀山 亨 所属 A-2 職種 介護士



田島 脩平

所属 A-3

職種 准看護師



髙西 直美

所属 A-1

職種 看護師



荒木 智恵子

所属 A-2

職種 看護師



宮原 渚 所属 A-1

職種 看護師



簡単 ミートソース

いろんなレシピをみて 適 当にアレンジしました。



Y

材料 (たっぷり4人~5人分)

11 — オリーブオイル or サラダ油 …… 適量

_ ●玉ねぎ …………… 半玉 1個 (みじん切り)

●セロリ ……… 根元より10cm程度 (みじん切り)

にんじん …………… 小1/2 (みじん切り)

- ●シメジ ······1/2Pac

3 — 牛豚合挽き肉 200g

(7:3の割合が良いそうです-凝りたい場合、挽肉器で自作)

_ ●カットトマト ·················· 1缶 (400g)

●赤ワイン …… 100m 日本製の無添加 辛口を使用 (辛口でも甘いですが)

●中濃ソース ………………… 大さじ3 (味の決め手 好みで増減してください)

●小麦粉 …………………… 小1~2 (とろみ付け)



29999999999999999999999999999999

作り方

4 -



- ●フライパンでタマネギをオリーブオイルで炒める。 しんなりしたらセロリ、にんじんを投入、 次いで挽肉をいれる。数分炒める。
- ●フライパンから適当な鍋に移し、4を入れて、数分加熱。

パスタにかけて・・・





平成





を開催しました

A1 病棟看護師 一倉 さつき

9月に入り、まだまだ残暑厳しい折、9月15日(土)院内 B棟ホール1Fにて「平成30年度 敬老会」が開催されました。

今年は30年間続いた「平成」最後の年にあたり、ご高齢 の方にとっては「大正・昭和・平成」と激動の年月を過ごし てこられ感慨深い敬老会であったと思います。

特に印象深く感じたのは、医師とスタッフによるミニコン サートで、昔懐かしい楽曲に耳を傾け体でリズムを取ってい る方や、口ずさんだり合唱したり、祝舞では1ヶ月前より患 者様と練習を重ねてきた「東京スカイツリー音頭」を楽しく 踊り、こころ穏やかにゆったりとした時間を過ごす事ができ ました。

超高齢化時代を迎えている現代、私達も日々の生活の中で 高齢の方々と接する機会も多くあり、「常に感謝の心」「敬う 気持ち」を大切にしていきたいと思いました。





「第57回藤村薬品杯病院親睦ソフトボール大会」 に参加しました

平成30年9月24日(月)(祝)、なごみの里運動公園にて、毎年恒例の藤村薬品杯病院親睦ソフトボール大会に参 加しました。昨年度は、「パート優勝」を飾り長崎県大会へ出場しましたが、今年は、強豪チームとの対戦ともあり 「1敗1分け」と成績が振るわず、"予選敗退"となりました。また、初心に戻り、来年の大会に向けて日々の練習 に励みたいと思います。





「出張相談」いたします ~こころのかぜひいていませんか?~

「最近、眠れない」「毎日、ゆううつで何もしたくない」「仕事でのストレスで体調がすぐれない」 「最近、親が物忘れがひどくなった」等、誰にも悩みを話せない・・・でもどうにかしたい! そのような悩みがあれば、私たちからご自宅等へ出向きお話を聞かせて下さい。

一緒にお悩みを共有しながら、「こころの元気」を取り戻すお手伝いをさせて下さい。

※まずは、お気軽にお電話下さい。(相談内容によっては、お引き受けできない場合もございますのでご了承ください。)



連絡先

電話受付:平日(月~金)(10:00~16:00)(予約制)

お問い合わせ:(095) 878-3734 事務総務課 担当:吉田形(よしだがた)、地域生活支援課 担当:冨永

地域生活支援課からのお知らせ

~患者様とご家族の方へ~

外来受診や入院相談に関しては、 地域生活支援課のソーシャルワーカーが対応します。 ささいな事でも構いませんので、お気軽にご相談ください。

~医療機関および施設の方へ~

地域医療連携の窓口として 「地域生活支援課」が、お話をうかがいますので、 ぜひご利用ください。

受付時間:8:50~17:10 電話 095-878-3734(代表) ファックス 095-878-3289(代表)

診療科目

精神科・心療内科・内科・歯科・ 歯科口腔外科・矯正歯科

病床数

355床

アクセス

長崎バス

30番系統に乗車 (深堀・香焼・野母崎方面行き) 土井首バス停下車 徒歩およそ10分

クルマ

国道499号下り線土井首バス停の次の信号の先を左折 長崎駅・大波止ターミナルからは、野母崎・香焼方面に向け 国道499号線沿いをおよそ30分走行

駐車場

100台

当院へ徒歩でお越しの際は、坂の登り 土井首 口より電話(095-878-3734)してい 郵便局 道 499号線 ただければ、坂の下までお迎えに参り ますので遠慮なくご利用ください。 <u>ー</u> 土井首 バス停 (土日祝は除きます) 武次食堂 この区間は 急な上り坂に なっています 野母崎・香焼方面-グループホーム 鹿追の里

3 医療法人協治会 杠葉病院

院

■ http://www.yuzuriha.or.jp/

■ 095-878-3734 ■ 095-878-3289



いよいよ「平成最後の年」も終わりを告げようとしています。来年、日本の国が新しい年号になり、新しい時代を迎えます。 わたしたちも今までの活動に加えて、「地域の方々にとって何ができるのか、何がお役に立てるのか」を常に考え、ひとりで も多くの方々に「杠葉病院を利用して良かった」と思われるようなサービス提供をおこなっていきたいと思います。